平成25年度 実施計画・事務事業評価(事後評価)シート

実施計画

•												
I	部等名	政策経営部		課等名	総務	 等課	記入者	'名	溝口	雄二	内線	205
	事務事業名	活性化プロシ	^ジ ェクト研	修		事業期間	1 平成	20	年度	$\sim \mp$	成	年度
	総合計画上の 位置付け	基本方針	基本方針 健全で効率的な行財政運営を推進するまちづくり									
		施策	時代の変	時代の変化に対応した行政運営体制の構築								
		細 施 策	職員の資	質と勤務意欲	を向上させ	せる人事制	度の構築	Ē				
根拠法令・条例、関連計画等 人材育成基本方針												
Ī	予算細々目名	Ż				会	計款	項	目	細目		
ĺ	職員研修費(活	性化プロジェ	クト研修)		0	1 0 2	0 1	0 1	0 6		
ĺ	_											

2 事務事業の目的(何のためにするのですか)

地方自治体を取り巻く環境は、厳しい財政状況の中で、住民ニーズの多様化や地域主権の進展など、「自治体間 競争」の時代と言われるほど大きく変化している。

このような、社会・経済情勢の変化をいち早く捉え、本市の置かれた状況を分析し、地域重視の政策を企画・立案し、実現する能力を身につける必要があるため。

3 事務事業の概要

H24年度の事業概要	H25年度の 事業概要・計画	H26年度の事業計画	H27年度の事業計画
み・弱み・機会・背威を把握する。その中で、問題解決能力を身につけるために「発想	行り。 ・10日30日に市長等三役及	プロジェクト立案にあたり、まずは、出水市の強み・弱み・機会・脅威を把握する。 その中で、問題解決能力を身につけるために「発想法」を学び、基礎を習得する。 ・全体研修1回を予定	 ・プロジェクト立案にあたり①班編成、②手法の取得、③グループ案作成を行う。 ・企画書の微調整を行う。 ・市長等三役及び関係部課長等へプレゼンテーションを実施する。 ・全体研修2回 ・グループ研修各班10回 ・プレゼン 1回を予定

4 事務事業の対象・手段・音図

7	尹幼尹未少刈多 丁权 总囚					
	対象(誰・何に対して行う事業ですか)	手段(対象に対してどのような活動を行うのですか)				
	職員	・企画立案の手法を学び、個々の能力を引き出す。 ・社会・経済情勢を学び、地方の置かれている厳しい状況を把握する ことで、職員の意識改革を図る。				
	意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)					
	自治体間競争といわれる中で、出水市独自の政策を立案する能力を取得する。					

事務事業評価(事後評価) 1 指標の推移

区	分	指	標	名	単位	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標	年度	と終目標 目標値
動	1)	全体研修			回	1	2	1	2	継続	1~2
指標	2	② 参加職員数			人	20	20	20	20	継続	20
成果	1)	政策提案採扶	尺件数		回	0	1	0	1	継続	2年に1回
指標	2										

0	<i>₹\</i>	<i>f</i> Æ
_	評	伳

•					りでは、 直(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など) 的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)			
2		評	<u> </u>	価				
ľ				票又は実施計画の意図を向	1上させる余地はないですか			
7			なし	理由				
	有		ある	一 政策立案手法を身につい 改革につながる。	けることにより、個々及び組織の情勢を把握することができ、職員の意識			
	効性	Į	廃止・位	木止した場合の影響はあり)ますか			
	1生		ある	理由				
				自治体間競争の時代と	言われる中、若手・中堅の職員の意識改革を促すことにより、今後、ます 高齢化に対応した施策の展開が遅延することになりかねない。			
İ				票を下げずにコスト削減 <i>0</i> 票がない場合は、単純にコ)余地はないですか コスト削減について記入してください)			
ı			なし	、 理由				
					しており、職員の講師を育成して充てることも、考えられないでも の時間と費用を要することから困難と考える。			
١	効	¥			はないですか (市以外の取組含む)			
ı	率		なし	理由				
	性		ある		研修を受講させる方法もあるが、本研修は、出水市での政策課題に特化しため、異にするものと考える。			
١		Ī	市と受済	益者との負担割合は妥当で	ですか(受益者負担がある場合に記入してください)			
			は V	、 <mark>理由</mark>				
			いいえ	当該事業は該当なし。				
ĺ	そ	f	他の市	T村では実施している 事業	美ですか(県内の他市の状況等を具体的に記入してください)			
	ての他	¥	類似事刻	業が、全国で実施されてV	いる。			
3		今	後の	方向性、改善案等(一次評価)			
	!]性(総合評価)	方向性の理由、改善案等			
				■ 現行のまま継続 て継続 縮小 □ 廃止・休止	各期生2年間で政策を立案する研修である(現在3期生)。今後、本 市を取り巻く厳しい状況を打破しうる職員の育成のためにも継続して実 施したい。			
$\dot{4}$		今	後の)	方向性、改善案等(二次評価)			
	!	今後	後の方向]性(総合評価)	方向性の理由、改善案等			
			拡大 改善し 統合・	て継続	企画・立案能力に優れた職員を育成するため、必須研修とするなど、 より多くの職員が受講できる方法への見直しを検討する。			
5					最終評価)			
	1	今後	後の方向	7性(総合評価)	方向性の理由、改善案等			
				■ 現行のまま継続 て継続 縮小 □ 廃止・休止	二次評価と同様に現行のまま継続とする。			